

発行
10月
28日

み と し ん ぶ ん
新・未杜新聞

地域通貨：未杜

2号

発行所
未杜の会
事務局



あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ

編集人：東野忠満 TEL 0795-82-1034



〒669-3601
丹波市氷上町
成松206-13

地域通貨・未杜（みと）とは、どのようなものか？

地域通貨・未杜は、円とはまったく違います。円は働いて稼いで、それを生活のために使うものです。しかし、未杜は「お互いの生活を助け合うための通貨」です。例えば「してほしい人」は「してあげようという人」とつながれば、その「してほしいこと」がかなう可能性があります。

例えば冷蔵庫が必要で、なんとか手に入れたいと思う人は、その要望を伝えれば、未杜会員が、その冷蔵庫をどこから調達してくれる可能性はあります。中古になるでしょうが。しかし、それでも円で買うより、ずっと安上がりでしょう。それもお互いが助け合おうという「未杜会員同士」ならでのことです。

と言っても未杜会員になるには年会費二千元がいります。けれども、あとは「してくれる未杜会員」とつながるだけで、上記のようなことも実現する可能性があります。もちろん、あなたが「してあげる未杜会員」になることもあるでしょう。そういう「未杜の交換（してあげればプラス、してもらえばマイナスと通帳に書き込みます）」によってお互いが助け合うコミュニティが実現するのです。それは「円しか通用しない社会」とは、まったく違うことは、これでおわかりでしょう。私たちは、そのような「地域通貨・未杜」を使った「お互いが助け合う社会の実現」をめざしているのです。さらに未杜会員相互の親睦も大切にしています。しかし、この説明はきわめて簡潔に書かれています。もっとくわしくお知りになりたい方は編集人までお尋ねください。（文責・義積）

別記

次回の未杜親睦会

日時 11月11日（月）
場所 柏原町北山 能勢宅の庭
目的 食事・親睦

連載 近未来SF小説
初刊 二章目 二分の一（前半）
水蜜桃（筆名 すいみつとう）

第二章 若返り人体実験の背景と推移

日本の年金制度崩壊までが秒読みに
2010年ごろから年金受給額は保険料収入を上回っている状態が続いている。給付額の不足分は国庫（税金）から補填し、さらに保険料の一部を年金積立金として保有して一部を運用しながら、切り崩している。これは、なんとか手を打たねば：
そんな背景の中、山中信弥教授が、IPS細胞（多能性幹細胞）を発見した。2012年には山中教授はノーベル生理学・医学賞を受賞した。

若返り人体実験と年金制度

山中教授は受精卵の成長過程である胚性幹細胞のような、人の体にどんな分化形成されていく細胞を胚の他から見つけ出した。

分化し成長してある部分になった細胞にも、人体全体の設計図と目次のようなものを発見した。種から増産しない植物培養に似たしくみが人にも見つかったのであった。つまり、ある臓器が不全になれば、人工多機能性幹細胞を使って、その臓器を創り得るのだ。

その研究のおかげで、肌の若返り、骨の若返りにお金をかける富裕層も出てきたし、培養した分化細胞からなる臓器を移植して難病から救われる可能性もでてきた。しかし、経済的に庶民にはまだ難しかった。しかし、もし近い将来に庶民にも、その技術の恩恵が受けられるとしたらどうだろう：
このように、再生医療に関する一連の研究が更に深く多岐に行われた。年金制度の崩壊を先延ばしに、あるいは立て直しに貢献できるのではないかと国による調査研究が秘密裏に行われていたからだ。そしてかなりの若返りが体中に起こせる施術R30の技術が2015年には誕生していた。それはマウスを使った実験にはじまり、最終段階では、無期懲役の囚人を

使って行われた。

R30とは、ある程度体力がある高齢期の人間を30代くらいの若かりし人体に戻す施術である。囚人を使った10年間の施術実験経過報告書（2030年公表）によると、60代と70代の無期懲役の囚人、男子5名女子5名計10名を使って毎年10年間、総勢100名を対象に行われていた。まず70代では実質30代といえるほどの若返りは起こらなかったが50才相当の若さには戻れる。

60代への施術結果は、想像をはるかに超えて30才相当の若さになりぶりである。その結果の違いは施術前の筋肉量の違いや、施術スタート時の脳の萎縮の有無による差ではないかと予想されていた。そして、若返りにかかる期間は約5年ほどであるらしい。マウス実験では再び若返ったおとなのマウスの寿命は、99パーセントが約1・2倍から1・5倍に延びた。しかし実験用のマウス自体を百匹使うとしてもロット単位では違うが、異なるロットでは違う





夫あてに送られて来た白い封筒の中には若返りピフォーアфта

結果が出る。親が異なる為の遺伝的な要因、生育環境の差などがあり、当然、結果にばらつきが生じていた。また、マウスの中には若返りが起こらなかった例も1パーセント出現していた。そして若返りが起こらなかったマウスの寿命は平均寿命より短かった。実験用に育てられるマウスは、手術しなければ、平均八百日程度の寿命なのだが、もっと広い自然界での個体差は計り知れない。つまり、本当に寿命が延びたと言いつた囚人を使った寿命の結果は、数十年先でないと分からない。しかも、囚人となつてからの食事を含む生活環境がほぼ同じである。しかし、檻の外の人間の生活環境は大きく異なる。囚人さん同様の結果が出ない可能性も考慮する必要はあるだろう。主に挙げるとすれば飲酒や喫煙、睡眠と労働の質や量の違い。生活エリアにおける寒暖の差等がある。

1の写真集の他に、R30科学的考察という別冊が添えてあった。その難しい別冊を今日一瞬に読みくだくと、魔法のように一瞬に若返るのではない。R30の施術後は、古びた細胞をドンドン新しく更新していくスピードが早い。その変化は、寝る子は育つといわれる赤ん坊のような睡眠を伴うようである。そして昔の自分に似て修復されていく。といったも、成人してから生活習慣によつてできた筋肉とかも影響するので、過去の30歳当時より、筋肉質であったりはする。更に、蓄えられた知識や能力は晩年に持つていたものが活かされるのである。つまり、若い青年の体力と、いままでの経験値が使える逞しい青年の誕生ということか。私65歳くらいで挑戦したい！今日子はそう思った。しかし、その考察には、マウスの寿命が施術結果では99パーセントが1.2から1.5倍に延びたことは書いてあるが、人体ではま

だ未知である。写真集を見て若返り効果に興味津々の今日子は、それほど深くその時点では考えが及ばなかった。年金受給R30引き換え法が成立した2030年(2031年4月1日施行)、年金制度崩壊秒読みを翻す事と、再び若くなれるなら、年金の受給が先のばしされてもよいと簡単に考えた過半数の世論(現若者は特に年金制度崩壊に危機感をもっている。そこで今回支持率アップは人口分布が減つたとは言え現役世代の感心が集結した証でもある)に煽られ、年金受給R30引き換え法案は可決され、R30引き換え法は60代の高齢者を選択するのには60代の高齢者に限られていた。

全内容ご希望の方問合せ

090-1918-5703

〒669-3313

丹波市柏原町北山163

R30全物語係り

費用950円(250円送料

印刷物700円)あなたの

住所お名前、電話番号ご記入の

上おはがきにてご注文ください。

1週間程度で郵送します。

届きましたらご案内の郵貯口座

へ950円お振込み下さい。

新未社会員は200未社

プラス500円

手渡し可能な方700円

自然酵母よしだ屋さんにて

レター可 2週間
会費 100円 送料 100円

創作ノート（こんなことできたらいいな）

丹波の限界集落に住むお年寄りの食の砂漠化対策と

丹波の魅力再発見の可能性を描く まごころ絆バス運行計画案

2019 8月 柏原町北山163 能勢京子 58歳 パート

090-1918-5703

参考時代背景 人口減少時代の論点90 公人の友社(春日図書館で借りた)

その本の論点40番目 フードデザート(食の砂漠化)

44、公共交通手段の現況。46、地方自治体の存続が困難化(社会保障増、地方交付税や国庫支出金の減少)

そんな時代背景の中、丹波市の中央にできた丹波医療センターを中心としたバスの路線変更 てくてくたんば(令和元年6月発行)の公共交通ガイドを見て希望の光だと感じた。

そこで、試み①

市の端周りに住む高齢者が、医療センターを利用した際、ついでに買い物をする。

再び路線バスや、デマンドカーなどを利用して帰宅するときの、買い物付き添いや、買い物荷物の積み込み、荷物数確認支援について。

柏原高校生が放課後に医療センター周辺で買い物付き添い支援。対象高齢者の名前とバス下車ステーションの名前を確認してもらう。買い物袋数および買い物袋に名札付けをお願いする。バスの乗務員さんにも連携を図る。約一時間程度のボランティア。

週に1回程度から実験してみる。利用者さんはバス運賃とは別に100円程度バス運賃に上乘せする。

学生ボランティアさん以外の時間に余裕のある医療センター付近の大人も状況次第でボランティアさんとして募集する。

ボランティアに対しての報酬として、買い物した店、利用するバス会社から、ポイントもらう。(カードにはんこ)あるポイントがたまれば(例えば50ポイント)、期間限定路線バス乗り放題パスが発行される。

上記報酬についての希望の視点。若い世代が支援するお年寄りの新たな課題を見つける。支援されるお年寄りの生きる希望が増える。若者が市の端周りのお年寄りならではの魅力にふれる。丹波に残して行きたい知恵や技へのつながりができる。知らない端っこを知りたいと思ってくれ、乗り放題パスを使って新たな発見をしてくれる。

若い視点で端周りを探索して、地域観光バス路線を検討する。丹波の活性化につなげる。若者の流出を止める。

試み②

実験的に、季節限定の端まり路線バス運行。人、技、自然や庭の美しいところを廻る。ボランティアさん提案のいきたいところや行って良かったところをつないで運行ルートを検討して実際に運行してみる。初回はボランティアさんへ御褒美親睦旅行として運行、SNSで発信し拡散。もし、定期的に運行したら利用したいか丹波へこられた方にアンケート。市外の人へもPR。反響を分析する。

展開するための課題

- ① 高校生の放課後の時間帯に現在は運行パターンがない。
- ② 医療センター付近の店に売り上げ貢献してしまう。遠い店からのクレーム。
- ③ 事務局等が必要になる。(利用者と支援者のマッチング、待機場所の確保とルール)
- ④ 利用希望者(需要)がわからない。
- ⑤ 下車されてからの荷物による帰路の負担増
- ⑥ 少子化する時代を背景に学生さん以外のボランティアさんの募集
- ⑦ ⑥のボランティアさんへの連絡網と個人情報について
- ⑧ バス会社や市政、社会福祉協議会さん、高齢者包括支援センターさん等との連携
- ⑨ 実験的短期の取り組み後、出てきた課題を話し合う。長期的展望と実際できるベターな展開案の作成

提案内容の図

フィクションの小説で成功したつもりのお話を書いて支持者を増やせないか？

① 丹波市の端っこへ走る夕方の路線バスで高齢者の買い物支援

② 新しい季節限定観光路線の提案に若いボランティアの視点

買い物荷物の把握
帰路バス乗務員さんへの
申し送り

食料
衣料
日用品の店

医療センターへ来院
のバス利用のお年
寄り
運賃とは別に
利用料一回100円
程度

若いボランティア
さんと丹波の田舎
ならではの魅力を
知る高齢者をつな
いで絆と知恵

○ 高校生が放課後一時
間程度買い物のお手伝
い
○ ボランティアポイントを
ためると、期間限定
路線バス乗り放題パス

mito

アプリでみとはじまっています!



地域通貨の第一人者、西部忠先生が会長を務める、持続可能社会のためのコミュニティ通貨研究コンソーシアム。
(Consortium of Community Currency Study for Sustainable Society) 略称 3C3S
コンソーシアムではコミュニティ通貨アプリ「C.C. Wallet」を利用して、デジタル通貨における地域での実証実験を行っています。丹波地域でも丹波通貨 mito を使いはじめています。



使っているところ

氷上西高校まちづくり部が開催する放課後カフェでドリンクを1杯10 mito でご提供いただきました。

(2019.10.15 の開催時。何 mito かはその時によって変わります。)

他、「あおがき道の駅のタベ」のボランティアや空き家改修の作業をした高校生に mito の支払いが行われました。

放課後カフェに「未社の会」のメンバーも来てくれました。

3C3S について詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.3c3s.org/>

C.C. Wallet のアプリはこちらからインストール。

<https://www.3c3s.org/product>

又は、iPhone の方は AppStore で

Android の方は GooglePlay にて「C.C. Wallet」と検索。

インストール後は以下の手順で mito が使えます。

- ・ユーザー登録：必要情報を入力してください。
- ・「コミュニティを探す」から丹波通貨 MITO を探す。
- ・丹波通貨 MITO の「参加する」を押す。

C.C. Wallet では相手の QR コードを読み込むか

相手の ID を入力して mito を交換し合います。

法定通貨との換算はなく、マイナス値が使えます。

皆さん気軽に使ってみてください!

サービス提供者も絶賛募集中です!!

(使える場所が増えてくれば価値が大きくなります。)

ご不明点は湯山 (090-4085-2295) までご連絡ください。



RAMICS 2019 第5回 貨幣革新・地域通貨国際会議が岐阜県の高山市文化館にて開催。

9月14日に、"The Keys to Sustainability of Long-lived Local Currencies in Japan"

「日本の長寿地域通貨 サステナビリティの秘訣」というテーマのセッションに赤井俊子さんが登壇されました。

このたび、未社の会に新規入会いたしました湯山です。IT業を生業としているため、高校生にアプリを使う体験をしてもらいたいと思っています。デジタル版 mito について従来版未社との連携や運営体制など課題も山積みですが、まずは使ってみようということで氷上西高校を中心にはじめています。皆さまの暖かいご支援とともに今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

湯山加奈子